

平成 22 年度第 6 回 第 3 部会 会議概要録

開催概要

- 名 称：第 6 回 東区自治協議会 部門別第 3 部会
- 日 時：平成 22 年 11 月 17 日（水） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
- 場 所：東区役所分館 A 会議室
- 出席者：委 員
滝澤（宇）委員，大河内委員，小島（寛）委員，滝澤（莞）委員，嶋田委員，
小川委員，浮部委員，栗山委員，春木委員，鈴木（昭）委員
：事務局
（東区）地域課職員 2 名

審議・報告内容

- 石山地区から市民病院へのバス路線要望について
 - ・石山地区から市民病院へのバス路線設置についての要望書，要望ルート案，今後の新潟交通への要望のスケジュール等を事務局から説明
 - 【主な意見等】
 - ・優先順位の高い要望案 1 の方が多くの箇所をカバーできるのではないかな。
 - ・今回の要望が新潟交通に通らないのならば，住民バスという選択もあるのではないかな。
 - ・市民病院で「りゅーとリンク」を含めた降車人数を 1 時間ほど観察したところ，各便の利用者は 0～3 人であった。あまり利用されていないようだ。
 - ・江南区の市民病院に向かう区バスは，常に 10 人以上乗っており，利用者が多い。
 - ▷この内容で要望書を提出することについて部会了解
 - ◎ 新潟交通へは，11 月 24 日（水）に，滝澤部会長，東区長，地域課長，小川委員，石山コミ協の室橋さんで署名を持って要望書を提出予定。
 - ◎ 11 月 26 日（金）の東区自治協議会において提出の報告を行いたい。
- 区役所移転後のバス路線設置に向けた方針について
 - ・事務局より，区庁舎移転に伴う実証実験運行について，前回のご意見を踏まえた修正ルート及び，現段階における新潟交通との調整状況を説明
 - ・経費等の関係から，実証実験の運行本数や運行期間等の検討
 - 【主な意見等】
 - ・今回示された実証実験運行ルート案は 1 ルートだけだが，前回示された向陽線を含めた検討が必要ではないかな。
 - ・アンケート調査の実施も含め，今回の実証実験で何を検証するのか，目的等をもう少し

明確にさせるべきではないのか。

- ・本来ならば、市が実証実験自体をおこなうのではなく、新潟交通が公共交通の担い手として市の補助なしに積極的に行うべきではないのか。
- ・実証実験という形ではなく、本来の路線の何本かを要望している経路に変更して運行することはできないのか。

▷運行方法等について新潟交通と調整をおこなっているが、現在運行している路線の一部を実証実験として変更することは、関連する全てのバスのダイヤに影響があるだけでなく、車両整備も必要となるので困難との新潟交通の見解がある。

また、路線の一部を変更し、その区間だけの補償というかたちでの実証実験を行うことも現実的に難しい。

- ・新区役所の一日の利用者数を踏まえてバス路線の検討をするべきではないか。

そのためには、庁舎全体の利用者見込みを出して欲しい。

▷1階と2階については資料があるので次回に配付したい。

- ・区内を縦断する公共交通が本当に必要ならば、縦のラインを結ぶ路線だけを充実すべきではないか。

- ・石山出張所と区役所を結ぶチャーター路線の経費の算出も必要ではないか。

▷バスは単に施設間を運行するだけでなく、住宅地を経由しながら乗り降りして頂くことで利用が増える。当初の東区バスも赤字しか通らなかったため、全く利用されなかった経緯がある。

- ・そもそもの需要がなければ、お金をかけて実証実験をする必要がないのではないか。

▷需要のある路線になるよう新潟交通とも相談しながら進め、一般路線化したい。

- ・乗車運賃も重要である。区バス同様に200円均一ならば利用者しやすい。

▷新潟交通の一般路線として改編させる目的であることから、料金体系も新潟交通の一般路線と同様にして実験しなければ本来の意味がなくなる。

- ・新潟交通と情報交換も含めて、更に話し合いをすべきではないのか。

▷予算の見通し状況によって対応したい。

- ◎ 今回の意見や予算の状況なども踏まえ、引き続き検討することとし、次回は必要に応じて新潟交通からも部会の検討に入ってもらおうことになった。

○ その他

(委員からの質問等)

- ・新庁舎周辺の道路整備状況等を知りたい。
- ・新庁舎のテナントについての状況を知りたい。
- ・園芸センター移転後の計画がどのようになっているか知りたい。

- ◎ 次回の部会開催は、12月22日(水)午後4時から区役所分館A会議室で行う予定。